

地盤品質判定士会中部支部 第4回 幹事会 議事録

- A. 日時 2021年11月18日(木) 15:00～17:40
- B. 場所 名古屋大学減災館 302+Zoom
- C. 出席者 減災館：利藤、桃井、谷口、向井、荒井、居川、斉藤、高森、千野、長沼、堀中
Zoom：倉橋、小嶋、品川、山名、山本
欠席：金森 (敬称略、順不同)

D. 配布資料

- ・報告-1 中部支部第3回幹事会議事録
- ・報告-2-1 地盤品質判定士会2021年度第4回幹事会議事次第
- ・報告-2-2 令和3年度第4回地盤品質判定士会幹事会技術委員会資料
- ・報告-2-3 第2回見積書式統一WG会議議事録
宅地相談対応の標準化案
- ・審議-1 中部支部設立特別講演会実施結果報告と反省点・改善点
- ・審議-2 中部支部各グループの今後の活動方針案

E. 報告事項

1. 前回議事録の確認(報告-1)
前回幹事会(9/21)の議事録を確認した。
2. 本部幹事会報告(報告-2-1)
利藤支部長より第4回の幹事会の内容について報告があった(以下、抜粋)。
 - (1) 各委員会より
 - 1)技術委員会
 - ・日弁連との意見交換会より、宅地取引に判定士が関わる制度設計と国への提言を主旨としてWG活動を進める。
 - ・講習会開催の次段階として書籍の編集・出版を目指す。まずは市民相談、都市防災、裁判対応についてWGを立ち上げて進める。
 - 2)広報委員会
 - ・HPへのバナー広告の掲載と費用徴収について。掲載期間に応じて費用徴収する案や、会費制として広告費を単独では徴収しない案など、実際のアクセス数分析や関係者へのヒアリングを踏まえて検討中。
 - ・宅地相談希望者向けのHP掲載メニューについて、神奈川支部HPのモデルを参考に検討中。

3)総務企画委員会

- ・2021年10月度の収支報告および決裁見込みについて報告があった。
- ・1/29開催予定の地盤品質セミナーは、集客力が高く収益の目玉となる。200名程度の参加を目標としている。

4)見積りシステムWG活動

- ・物品販売、講習会の受付・費用処理のシステム化について、ワイシステムサポートへ委託し、来年度からの運用を予定している。
- ・宅地相談に関する見積りシステム化については、相談の流れ等を判定士会として再検討するため、別途WGを設ける。

(2)各支部・各部より

- ・関西支部、神奈川支部、宅地防災部の活動状況について報告があった。
- ・中部支部からは、設立特別講演会の開催結果、利藤支部長が盛土に関する取材を受けメーテレで放送されたこと、「宅地・盛土被害110番」等の対応について報告を行った。

(3)各部会より

- ・熊本地震対策部会、北海道胆振東部地震対応部会、中国支部設立準備部会、東北支部設立準備部会の活動状況について報告があった。

(4)当日の話題、議論

- ・「関東支部の必要性」について、様々な意見が上がり、来年度以降に本格的に検討することとなった。
- ・収益の向上・安定化を目的として「判定士会の会費制」について議論があり、来年度以降の検討課題とすることとなった。

3. 相談対応の標準化（報告-2-3）

9/14以降、中部支部への相談は3件あり、それぞれ利藤支部長、桃井副支部長、荒井幹事が対応を行った。今後のため、相談対応の標準化案が示された。

F. 審議事項

1. 中部支部設立特別講演会（10/7）の結果報告と振り返り（審議-1）

- ・HPに掲載するための開催報告案の説明があった。
- ・参加者数は52名で、会場参加14名、WEB参加38名であった。その内、約6割が中部支部エリア（長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県）からの参加であったが、中部地域の地盤に関する内容が多かったためと思われる。また、約8割が建設コンサル・調査会社からの参加であった。
- ・準備においては、申込み手続き・入金確認に労力、時間を要した。今回の周知期間は1ヶ月であったが、より多く募るには2ヶ月程度が望ましい。
- ・講演会当日においては、一時音声の不具合が生じたが、機器接続方法の見直しにより今後は

改善可能である。また、WEB参加者からの質問受付についても事前提出なども含めて今後の対応を検討していく。

- ・参加者へのアンケートを失念していたので、年内を目途に対応していきたい。

2. 今後の各グループの活動案について（審議-2）

(1) 総務グループ

- ・役割分担表の内容に沿って実施予定。その他、判定士会委員への情報発信や中部支部の登録者名簿の管理を行う。
- ・講習会での講師依頼状および講師確認書の送付は、今後は行事グループが担う。

(2) 調査グループ

- ・地盤品質判定士の活躍の場を広げる活動を行う（相談員制度、資格要件に含まれている被災宅地危険度判定士の取得など）。
- ・行政との防災協定、防災のPR（一般の方への相談会の実施など）。
- ・災害時の対応（地元での災害時に活動が可能なのか、他支部への協力要請など）。

(3) 広報グループ

- ・問合せ窓口を改修し、相談者の心理的なハードルを下げる（過去の対応事例集の掲載など）。
- ・知名度向上のため、各種イベントに参加して活動をアピール。
- ・行政との連携など地域に根差した活動を行う。
- ・パンフレットなど営業ツールの検討（本部のパンフレットはある）。

(4) 行事グループ

- ・市民向け活動（相談・啓蒙）として、住宅地盤相談会や防災関連のイベントへの参加を検討。
- ・判定士資格者向けの活動（資質向上支援）として、技術講習会や調査・施工・災害対応についての事例報告会などを検討。
- ・企画、実施にあたってはグループ同士で連携して運営するのが望ましい。

G. 次回幹事会の予定

- ・ 日 時 : 2022年1月20日（木）14:00～16:00
- ・ 場 所 : 名古屋大学減災館 302+Zoom

以 上